

畠山重忠公 ゆかりの地 周辺を巡る

モデルコース

- ★ **イ** 黒田交差点 約 2.2Km
- ★ **ロ** 畠山重忠公史跡公園 700m
- ★ **ハ** 鶯の瀬公園 100m
- ★ **ニ** 井椋神社 400m
- ★ **ホ** 満福寺 約 1.1Km
- ★ **ヘ** 六堰頭首工(重忠橋) 約 2.6Km
- ★ **ト** 川本出土文化財管理センター 約 2.5Km
- ★ **チ** 道の駅かわもと



ろくせきとうしゅこう しげたばし 六堰頭首工(重忠橋)



江戸時代初期に荒川に六つの堰が作られました。しかし水難が度重なり、その対策として、昭和初期に六つあった周辺の堰を一つに繋げたものが、現在の六堰の原型となります。
※現在のものは平成に整備されたものです

うぐいすのせこうえん 鶯の瀬公園

重忠公が榛沢成清の館へ行った帰り豪雨となり、川が増水して渡れずに困っていたところ、一羽の鶯が飛んできて美しい鳴き声で鳴きながら浅瀬を教えてくれ、無事に渡ることができたと伝えられています。

まんぶくじ 満福寺



重忠公の菩提寺と伝えられています。現在の建物は江戸時代以降のもので、観音堂には畠山重忠等身大の千手観音立像があり、境内には重忠廟の石碑などがあります。

いぐらじんじゃ 井椋神社



畠山氏が秩父から進出して来た際に、現秩父市下吉田にある椋神社(秩父平氏の守護神)を勧請してきた神社と伝えられており、井椋神社も畠山氏の守護神だったと推測されます。

はたけやましげただこう しせきこうえん 畠山重忠公史跡公園



重忠公が誕生したと伝わる「畠山館跡」のあった場所が公園として整備されました。公園内には産湯の井戸、畠山重忠墓、重忠を詠んだ芭蕉句碑などがあります。



かわもとしゅつど ぶんかざい かんり 川本出土文化財管理センター



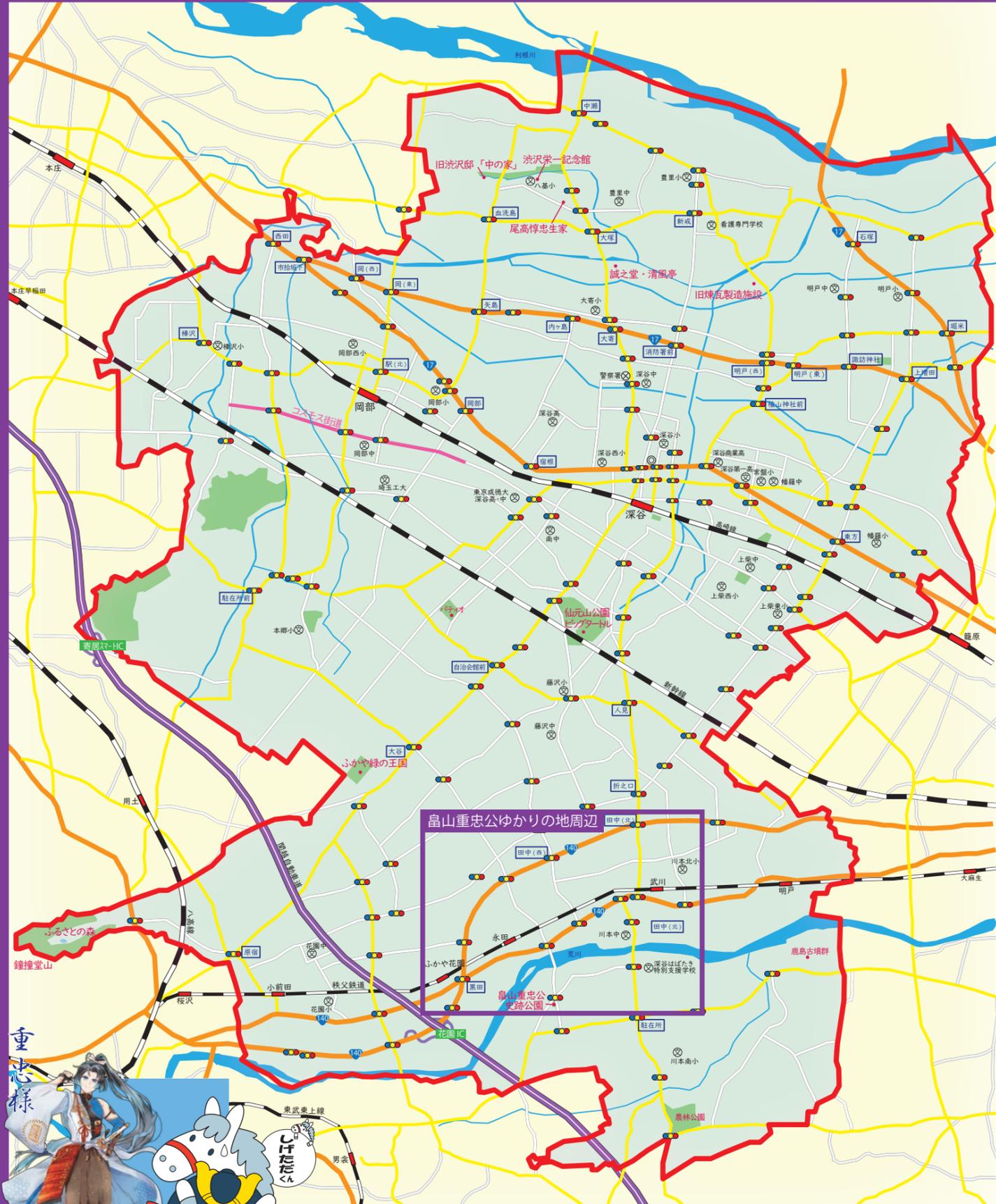
深谷市内で発掘された出土品の保管管理施設です。畠山重忠関連資料の展示も見学できます。
開館時間：9:30～16:30
休館日：土曜、日曜、祝日、年末年始
※ただし令和4年2/1～12/28は無休
駐車場 / 川本公民館と共有

みちのえき 道の駅かわもと



農産物直売所のほか、お食事ができるテナントが入った物産館では、深谷市の情報発信の場としてパンフレット等も設置しています。
物産館 / 9:00～17:00

深谷市の どのあたり?



武勇 誉れ高く、清廉潔白「武蔵武士の鑑」

畠山 重忠公

～ ゆかりの地 周辺を巡る ～

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にて
畠山重忠役の中川大志さんがゆかりの地へ



「広報ふかや」令和4年1月号にて特集



畠山重忠公銅像：畠山重忠公史跡公園内

畠山重忠って?

平安時代の終わりころから鎌倉時代の初めにかけて活躍した、武蔵国を代表する有力武将です。源頼朝が打倒平氏のため立ち上がった後、頼朝のもとで功績を重ねました。

深谷にどんな関係があるの?

長寛2年(1164)に、現在の深谷市畠山の地に生まれました。
館跡と伝わる地が「畠山重忠公史跡公園」になっています。公園には、重忠の墓や産湯の井戸、愛馬「三日月」を背負って坂を下った重忠の雄姿を表した銅像などがあります。
(銅像は、一の谷の戦いにおける「鶉越の逆落とし」での逸話をあらわしたものです)

すごい人なの?

文武両道にすぐれ、謹厳実直で情けを知る武人で「武蔵武士の鑑」と称されました。優しさや剛力ぶりを伝える逸話が日本各地に数多く残されており、その人柄や功績は後世まで語り継がれています。